

富士山憲章 NewsLetter

2021

7

No.135



富士山五合目

(写真提供 山梨県富士山レンジャー)

富士山憲章山梨県推進会議 (富士山ボランティアセンター)

富士山ボランティアセンターを運営している富士山憲章山梨県推進会議は、山梨県と富士北麓地域の7市町村（富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、鳴沢村、身延町）、2つの恩賜林組合（富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合、鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合）で構成されており、平成10年に山梨・静岡両県で制定した「富士山憲章」の普及啓発や、富士山の環境保全と適正利用を推進する活動を行っております。

令和2年度 活動報告

昨年度も、多くの方々に当センターの事業にご協力いただきました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の休館や各種イベントの中止など、大変厳しい状況にありましたが、10月には国道清掃キャンペーンを実施、78名の方が参加、可燃ゴミ・不燃ゴミ合わせて700kg以上のゴミを回収しました。11月には富士山麓古タイヤ等不法投棄防止集中キャンペーンを実施し、多くの観光客の方等に不法投棄防止の啓発活動を行



富士山麓古タイヤ等不法投棄防止集中キャンペーンでの清掃活動

うとともに、会場周辺の清掃活動も行いました。

また、「富士山エコトレッキング」を開催、環境保全に係る学習会を行った後、青木ヶ原樹海の成立ちと特徴、溶岩の特性などについて富士山レンジャーの解説を聞きながら富士山周辺の山歩きを行いました。山歩き後には、周辺の清掃活動も実施しました。



富士山エコトレッキング

「第18回富士さんへ謹賀新年」富士山あて年賀状」には、38都道府県から1328点のご応募をいただきました。入賞作品20点は富士山ボランティア

センターのHPにてご覧いただけます。富士山への想いが詰まった力作をぜひご覧ください。



「富士さんへ謹賀新年」の最優秀作品



令和3年度 事業内容

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントの中止など、引き続き厳しい状況にあります。が、美しい富士山を末長く後世に引継

いでいくため、富士山憲章の普及・定着を図る活動を行うとともに、富士山の環境保全に向けて、多くの方に積極的に行動いただけるような取り組みを進めて参ります。

まず、「富士山エコトレッキング」は、富士五湖の成り立ちと溶岩流の関係がわかるコースや、富士信仰の道を実際にたどりながら富士山の自然を味わえるコースを予定しています。

また、「富士さんへ謹賀新年」富士山あて年賀状」については、今年も富士山への愛に溢れた作品を全国から募集します。入賞・入選200点については、県内外各所にて巡回作品展の開催を予定しております。

そして、富士山及び北麓地域の美化清掃をしてくださる方等に清掃用ゴミ袋や軍手、「富士山環境保全ガイドブック」を無料で配布いたします。ガイドブックは富士山の気象・地形・地質・動植物・歴史・文化や保全対策など様々なことを知ることができます。詳しくは、富士山ボランティアセンターまでお問い合わせください。

富士山環境保全ガイドブック

富士山憲章山梨県推進会議



富士山環境保全募金・寄付金

募集のお知らせ

富士山ボランティアセンターでは、皆様からの募金のご協力をお願いしております。皆様から寄せられた募金は、富士山の環境保全のための費用として大切に活用させていただきます。ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

募金箱は次の場所に設置しております。

- ・ 富士山ボランティアセンター
- ・ 山梨県富士山科学研究所
- ・ 道の駅 富士吉田
- ・ ふじやまビール
- ・ 三ツ峠グリーンセンター
- ・ 富士湧水の里水族館
- ・ 山中湖 花の都公園
- ・ 山中湖温泉 紅富士の湯
- ・ 山中湖観光案内所
- ・ 河口湖自然生活館
- ・ 富士河口湖観光総合案内所
- ・ 道の駅 なるさわ
- ・ なかとみ和紙の里現代工芸美術館

※一万円以上の寄付をいただいた方、団体には感謝状を贈呈いたします。

ご協力いただける方は、富士山ボランティアセンターまでご連絡をいただきますようお願いいたします。



富士山環境保全募金箱

第18回富士さんへ謹賀新年

～富士山あて年賀状～

入賞・入選作品展のお知らせ

「第18回富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～」入賞・入選作品展を実施しております。コロナ禍を反映した富士さんへのメッセージも全国から数多く寄せられています。富士山への愛に溢れた力作をどうぞご覧ください。

今後の開催スケジュールは次のとおりとなります。

なお、開催日程等に変更の可能性がございますので、HPにて最新の情報をご確認ください。

7月9日(金)～7月29日(木)

ふじさんミュージアム

8月2日(月)～8月30日(月)

山梨中央銀行本店

9月17日(金)～10月7日(木)

なかとみ和紙の里現代工芸美術館

10月14日(木)～10月31日(日)

富士山樹空の森

11月2日(火)～11月14日(日)

山中湖村役場



富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～作品展

富士山憲章ワークブックを

ぜひ活用ください

富士山ボランティアセンターでは、富士山憲章の普及・定着を図るため、未来を担う子どもたちが富士山憲章の主旨や富士山の環境保全について学ぶことができる「富士山憲章ワークブック」

ク」を作成しています。ワークブックでは、富士山が世界遺産に登録された背景、植物の分布、美しい景観を守るための活動などを写真などを交えて分かりやすく紹介しています。また、富士山の自然や動植物、今抱えている問題などについて、「富士山環境保全ガイドブック」等を使って、自分たちで調べながら学べる内容となっております。

富士山憲章ワークブックは、富士山ボランティアセンターHPからもダウンロードできます。「富士山環境保全ガイドブック」と合わせ、富士山学習等にぜひ活用ください。

(<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/>)



富士山憲章ワークブック



出張講座(5月25日)@県内の小学校

新型コロナウイルスの影響はありますが、感染症対策を行う中、数は少ないながらも県内の小学校にて出張講座を実施することができました。

富士山の自然や環境保全についてお話した後、子供たちからは積極的な質問が寄せられ、充実した出張講座となりました。

環境学習プログラムでは、山梨県内での出張講座の他に、富士山世界遺産センターでの環境学習会、ゴミ拾い体験などを無料で行うこともできます。

富士山学習に興味のある皆さん、是非、私たちの環境学習プログラムをご利用ください。

(<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/>)

環境省、観光資源課との合同巡視

富士北麓を横切る東海自然歩道のうち、大平山周辺と三湖台周辺は定期的なベンチや道標、あずま屋などの歩道設備の点検を富士山レンジャーで行っています。今回は管轄する環境省富士五湖管理官事務所、山梨県観光資源課の方々と共に5月26日(水)に大平山を合



道標の点検(大平山にて)

同で巡回しました。今回、老朽化によるあずま屋縁台部の破損、ガタつきを確認、利用者に安全に利用していただくため早急に補修することになりました。今後も皆さんが東海自然歩道を安心して利用できるよう、点検を実施していきたいと思えます。



老朽化により、座面の破損、ガタつきがみられるあずま屋の縁台部分(大平山山頂)

河口湖アレチウリ駆除活動

5月30日(日)、河口湖の大石公園周辺にて、富士河口湖町、富士山クラブ、その他協力団体、地域のボランティア(20名程)と共に、アレチウリ(特定外来生物)やオオブタクサ(要注意外来生物)などの駆除活動、清掃活動を行いました。今年度は新型コロナウイルスの影響によ



外来植物駆除の様子

り、大規模な活動は行わず、少数精鋭での実施となりました。

炎天下のため、短時間でしたが集中して駆除作業に取り組み、活動成果としてアレチウリ、オオブタクサ、フランスギク等含む約57キロ、古タイヤや鉄パイプを含む計73キロのごみを回収できました。

アレチウリは繁殖力が強く、一株に数百から数千個の種をつけるため、芽生え直後の駆除が最も抜きやすく効率的です。左写真のような状態になると固いトゲもあり、素手で触るのは大変危険です。放置すると10m程に伸びて他の植物や農作物にも影響します。

抜いたアレチウリは、30分ほどの天日干しで枯死するため、見かけた場合は早いうちに引き抜いて日の当たる場所にまとめておきましょう。



成長して種のついたアレチウリ(昨年8月下旬)
※素手で触るのは大変危険です。

～2021 With コロナ時代の富士登山～



河口湖より望む夏の富士山

昨年は、富士山の夏山が閉山という異例の事態となりました。

例年この誌上では、安全で快適な富士登山を楽しんでいたため、主に装備（服装や持ち物）や注意事項等について情報発信していますが、今回は、Withコロナ時代の吉田ルートからの富士登山を中心にお話します。

通常の登山に関する情報は、富士登山オフィシャルサイトをご参照ください。同サイトには、富士登山に関する情報が多岐にわたって丁寧に記載されています。他にも様々な雑誌やウェブサイトからも情報を得ることができると思いますが。

登山は、地図を眺めることから始まるとも言います。「何着て行こう、何持って行こう」と浮き足立つ前に、事前の情報収集に時間をかけることも大切です。

山小屋は完全予約制

安全で快適な登山を楽しむためには、途中で1泊するようなゆとりある登山行程を計画することがおすすめです。その際、山小屋は予約制になっていますので、必ず予約をしてください。「富士登山オフィシャルサイト」内の「登山をより楽しむために」▼「山小屋情報」に山小屋のリンクがあります。

また、今夏は各山小屋は密を回避す

るために収容人数を従来よりも大幅に減らしています。そのため、個人での予約が取りづらくなることも考えられます。その場合は、登山ツアーに申し込むのも一つの方法です。宿泊、交通の手配だけでなく、装備のレンタルまで含まれる登山初心者の方や旅慣れていない人向けのプランもあります。ガイド付きプランやフリープランなどもありますので、そういった選択肢を検討してみるのも一案です。

日帰り登山は健脚向け、ゆったり楽しむ

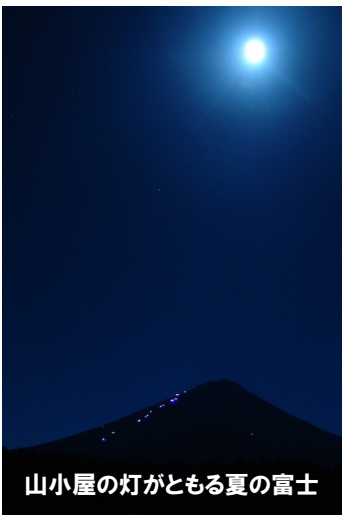
山小屋からのこ来光

富士登山には、日帰り登山という方法もあります。吉田ルートの標準登山時間は登りが約6時間、下りが約4時間、休憩を含めると合計約11時間必要となります。さらに、出発前に、五合目付近の標高で1時間から2時間程度休憩し、高山病の予防のために高度順応することを考えると13時間程度時間が必要となります。

一方、今夏のスバルラインマイカー規制期間中（令和3年7月21日～8月31日）のバスの時刻表を見るとどんなに早いバスに乗っても必要ぎりぎり程度の時間しか確保できないことがわかります。ゆとりのないプランでは、帰りのバスが無

くなり、五合目から下山できなくなる可能性もあります。日帰り登山は十分な計画を立てた上での健脚向けプランと言えます。

富士登山が初めてというような方にはさらにゆとりを持った山小屋でこ来光を見る行程がおすすめです。「せっかくなら、頂上でこ来光を見たい！」その気持ち、よくわかります。でも、富士山では山頂でなくても、キレイなこ来光が見られるのです。山頂でこ来光を見るためには深夜から早朝にかけて小さなライトの明かりを頼りに慣れない山道を歩く必要があります。また、山頂付近では渋滞が起き、夜間に並びながら登ることもあります。その点、山小屋でゆっくりこ来光を迎え、明るくなってから山頂を目指せば、足元もよく見え、渋滞も少なく安全・快適に登山を楽しむことができます。下山後すぐに帰路につかず、麓でもう1泊して疲れを癒し、山梨観光を楽しんでから家路に着くのもおすすめです。



山小屋の灯がともる夏の富士

今夏の富士登山においては、感染症対策がとられ、マナーが定められています。詳しくは「富士登山オフィシャルサイト」▼お知らせ▼Withコロナ時代の新しい富士登山マナー」を参考にしてください。

検温及び体調確認

富士登山では3カ所の検温・体調確認ポイントがあります。

- 1 スバルライン一合目(7/1～7/20、9/1～9/10)
- 2 スバルライン五合目
- 3 吉田口登山道六合目

体調確認のためのチェックシートがHPにありますので、事前に記入して持つていくようにしましょう。



持ち物について①

マスク・手ぬぐい・ネックゲーター

富士登山は、当然のことながら屋外での運動になります。マスクなどを常時装着していると思苦しいのはもちろん、酸素の

薄い高所では十分な呼吸ができず高山病のリスクが高まります。歩行時は、周囲の人との距離を確保してマスクを外し、休憩ポイント等、人との距離が縮まりやすい場所では、マスクや手ぬぐい、ネックゲーターなどで口元を覆うなどエチケットを守ってください。

登山中の周囲の人との距離ですが、家族など身近な同行者以外の人とはソーシャルディスタンスを少なくとも、2m確保してください。確保できない場合や登山道で人とすれ違う時などはマスクなどで口元を覆うようにしましょう。また、マスクは、晴天時の下山道の砂ぼこり対策にもなりますので、予備も持参しましょう。

持ち物について②

携帯用手指消毒剤 & ウエットティッシュ

富士山は、水場のない山です。山小屋や公衆トイレなど各所に消毒液は準備されますが、街中と違って手洗いが簡単に行える所ではありません。個人で携帯用手指消毒剤を持参することをおすすめします。登山では、コロナ禍に限らずウエットティッシュも便利です。

ここまでWithコロナ時代の富士登山について書いてきましたが、コロナ云々にかかわらず、富士登山は、標高3000mを祈りつつ、お待ちしております。



コロナ対策も万全に！

富士登山オフィシャルサイト

<http://www.fujisan-climb.jp>



富士山八合目からのご来光

やまごはんのすすめ

Vol.5 焼肉

山で焼肉！これ以上のごちそうがあるでしょうか？

大勢でワイワイ焼くもよし、一人で静かに焼くもよし、ビールで乾杯もよし。贅沢な“焼肉”やまごはんに必要なのは、材料を背負って登る覚悟と、ちょっとした工夫です。



岩塩プレート



山岳用の軽量焼き網

山岳用の軽量ガスバーナーと
ガスカートリッジ



お肉

低山ならダイナミックにパックのまま持って行くこともアリかもしれません。ただし、装備を軽量・コンパクトにするなら、あらかじめ食べやすくスライスした肉をアルミホイルに包み、ジップロックに入れて持って行くのがおすすめです。

傷み防止に念を入れるなら飲料水を凍らせたペットボトル等を保冷剤とすると一石二鳥です。

野菜

サンチュなどの葉物野菜は、家で洗って一枚ずつよく水気を拭き、キッチンペーパーにはさんでジップロックに入れて持っていきます。

かぼちゃ、タマネギ、なす、ピーマンなどの野菜やしいたけなどは、火が通りやすい厚さにスライスしてジップロックに入れて持っていくと便利です。日干して水分を飛ばし、少しでも軽くするのもおすすめです。

道具と調理方法

フライパンで調理する場合は、山岳用の軽量鍋の蓋で、フライパンとしても使えるものや、家庭用のフライパンで直径20センチくらいの小さいものが便利です。

アウトドア用の焼き網で調理する場合は、ガスバーナーに垂れる油に注意です。写真は材料の下に岩塩プレートを敷いて対策しています。岩塩プレートはホームセンターで500円くらいで購入できます。

油、タレなどの調味料はお好みのものを小分け容器に入れて持って行きましょう。

大空の下、お肉を豪快に焼いて頬張れば、きっと贅沢な“やまごはん”が楽しめますよ！

富士山世界遺産センターだより16号

令和2年度調査研究

当センターでは、富士山の世界遺産登録時にイコモスより示された課題「下方斜面における巡礼路の特定」について継続的に調査を行っています。昨年度は主に鎌倉道と、三重県の富士信仰についての調査成果をまとめました。

富士山と鎌倉道

令和2年度夏の企画展「富士山と鎌倉道―御山の入口・新倉―」では、御坂峠を下り、川口（富士河口湖町河口）から吉田に抜ける巡礼路（鎌倉道）について調査・考察を行いました。川口から東の天神峠を越えた場所に位置する新倉は、三つの真宗寺院が隣接している非常に珍しい地域です。この峠を越えるルートは河口湖畔の通行が容易になる以前の古い道で、西側から吉田を拠点として富士山へ向かう信仰の道であり、新倉はその玄関口といえる集落でした。このような場所であるため、新倉の三つの寺院―大正寺、正福寺、如来寺―には、富士山御縁年発行



道中歌と踊り(伊勢市東豊浜町土路)

の護符、甲斐の黒駒に乗った聖徳太子像などの資料が現存しており、富士山とこの地の深い関係がうかがえます。

三重県の富士信仰

富士山からおよそ200キロメートル以上も離れた伊勢志摩にも、山開きの時期に富士参りを行う富士講（浅間講）があります。それらの講が催行する行事の多くは歌と踊りをともなっており、現在でも地元祭として存続しています。歌は、地元を出立して富士山に詣でて帰ってくるまでを歌った「道中歌」で、歌詞を見ると伊

勢志摩の道者がどのような道筋で富士に至ったのかが分かります。祭当日は、道中歌に合わせて富士登山する男性が列をなして熱狂的に踊り、留守を預かる女性達も歌に合わせて輪になって踊ります。歌詞は地域毎の違いが見られますが、大半が出立や登山など同様の場面を歌うことから、三重県の富士信仰が歌や踊りとともに広がっていったことが考えられます。

センター研究紀要第5集

令和3年3月に発行した、研究紀要『世界遺産富士山第5集』にここで紹介した鎌倉道や三重県の祭行事など、富士信仰の広がりに注目した調査成果が掲載されています。当センターのホームページ上で公開していますので、ぜひご覧ください。

(<http://www.fujisan-whc.jp>)



令和3年度企画展「富士八海を巡る」

◇日時 7月22日(木)～9月27日(月)

※7月27日(火)、8月24日(火)は南館休館

◇会場 富士山世界遺産センター 南館 富士山ステーション

◇内容 「富士八海」(内八海・外八海)は富士講中の巡拝地としてどのように成立したのか、その信仰はどう展開したのか、八海巡りの視点から考察した富士信仰のあり方を紹介します。



富士山世界遺産センター 北館リニューアル

山梨県立富士山世界遺産センターは北館と南館から構成され、北館では富士山の自然と信仰の始まりを、南館では信仰と芸術についての展示を行っています。



富士山世界遺産センター 外観

北館については、富士山に関する研究の進展や状況の変化を踏まえ、本年3月に全面リニューアルを行いました。展示のレイアウトを見直し、通路を広くすることにより、展示室がより開放的な空間となりました。展示については、「富士山の自然」として「信仰」をテーマに、富士山の火山としての成り立ち、富士山に生きる動物や植物等の自

然、豊かな自然を基盤とした信仰の始まりまでを紹介しています。また、新たに火山灰やスコリア、様々な形の溶岩などの実物を展示し、自然を体感できる展示となっています。

変化に富んだ豊かな自然と自然の厳しき、噴火に対する信仰の始まりを分かりやすく学ぶことができます。ぜひリニューアルした北館を見に来てください。



北館がリニューアルしたよ！！

教育への取り組みと情報発信

当センターでは、子供たちにも世界遺産富士山に対する理解を深めてもらうため、教育への取り組みにも力を入れています。コロナ禍により新しい生活様式が求められるなか、安全に学校団

体の受け入れができるよう、日々工夫をしています。

中心となる活動は、館内めぐり（ガイドツアー）や座学など「世界遺産 富士山」を学ぶ教育プログラムの実施です。世界遺産とは？なぜ、富士山は世界遺産になったのか？信仰の対象と芸術の源泉とは？ということか？富士山の構成資産って？富士山のこれからは（わたしたちにできることは？）など、世界遺産富士山について学んでいただけます。

現在は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、①同一時間1校のご案内②施設に入る前に検温・消毒の徹底、③三密を避けるため、南館ガイドツアー実施後に北館グループ見学をする70分を基本としたプログラムの実



南館ガイドツアーの様子

施、④学校団体の実施希望に応じた座学の実施、⑤当センター内一方通行など安全に配慮して実施しています。



「世界遺産 富士山」を学ぶ座学

来館した子どもたちが世界遺産富士山について学び、理解を深め、より富士山を身近に感じてもらえるようスタツプが全力でご案内しています。詳しくは当センターホームページをご覧ください。

(<http://www.fujisan-who.jp>)

また、広報活動の一環としてヴァンフォーレ甲府ホームゲーム時にブースを出展して富士山の普遍的価値の普及啓発を行うなど情報発信を行っています。コロナ禍で十分な広報活動とはいきませんが、多くの方に世界遺産富士山について知っていただけるよう継続して取り組んでいきます。

お知らせ

富士山美化啓発キャンペーンボランティア大募集！！

「美しい富士山を後世に引き継ぐために…」

登山者や観光客にゴミの持ち帰りなどを呼びかけるとともに、環境保全のための清掃活動を行うボランティアを募集します。皆様の積極的なご参加、お待ちしております！！

実施期間：8月11日(水)～15日(日) ※期間中は何日でも参加できます。

9時集合～11時30分散会予定

活動場所：富士山パーキング(富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-84)

集合場所：富士山ボランティアセンター(南都留郡富士河口湖町船津6663-1)

(山梨県立富士山世界遺産センター北館内)

募集人数：各日10名程度

持ち物等：帽子、飲み物、カップ、動きやすい服装等

募集締切：8月5日(木) 午後5時まで

富士山美化啓発キャンペーン

検索



富士山レンジャー写真展 2021

山梨県富士山レンジャーが撮影した美しい風景や植物、富士山が抱えている問題などを紹介しています。
富士山レンジャーならではの視点で撮られた写真をぜひご覧ください。

日程等の詳細はこちら



富士山憲章（行動規範）

- 一 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 一 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 一 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 一 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 一 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境等の保全の理念や環境保全のための行動規範を示すことにより、富士山の環境保全への協力を訴え、国民的な規模で保全運動の展開を図っていくことを目的としています。

■編集・発行 富士山ボランティアセンター
(富士山憲章山梨県推進会議)

山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1
(富士山世界遺産センター北館内)
TEL: 0555-20-9229 FAX: 0555-72-4114
E-MAIL: fujisan@eps4.comlink.ne.jp

富士山ボランティアセンターホームページ
<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/>

富士山環境保全関連イベントのメールマガジンを希望する方は、「富士の国やまなし観光ネット 富士の国やまなしメールマガジン」の会員登録画面より登録してください。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/mailmagazine/index.html>